令和４年４月８日（金）　始業式　挨拶

皆さん、おはようございます。今日は始業式にあたり２点、話したいと思います。

一点目は校歌に関してです。先ほどの校歌演奏でCDを聴きましたが、現在、コロナ禍の影響で校歌を歌えない状況が続いています。しかし、校歌は昨日入学式で話しました校訓とともに皆さんにとってとても大切なものだと思います。

例えば校歌の歌詞から引用されたものって色々あると思いますが、何か知っていますか？同窓会の名前は知っていますか？ ではこの冊子、年度末の３月に皆さんに配られる学校誌の名前は？ そうですね「緑葉」です。他にもあります。皆さんが給食を食べる食堂は「若葉食堂」ですよね。中学生なので若い「緑葉」という意味で「若葉」としたと聞いています。

さて、皆さんは校歌の歌詞の中でどこが心に残りますか？ 印象的な部分はどこですか？ 私が個人的に好きな歌詞は「天地(あめつち)はわれらを待てり」です。「君たちが自分らしさを発揮して世界、社会に貢献する姿」や「世界が君たちを必要な人材として待っている様子」など、皆さんと世界の人々の出会いを思い起こすような意味を待っていると考えているからです。

是非、皆さんも校歌の歌詞の意味合いを探って、自分の心のよりどころにできる部分を見つけてほしいと思います。

続いて二点目は、この高志中学校に関してです。高志中学校はできて何年目でしょうか？ 新１年生は第８期生ですから８年目ですね。人間で例えると８歳ですから小学校２年生なので、まだとても若い学校です。これまでの先輩は道なき道を切り拓いてきました。皆さんも先輩がつくった道をただ進むのではなく、寄り道をしたり、別のルートを開拓したりとパイオニア的な気持ちを持ってほしいと思います。

第１期生のときの開校式・入学式での来賓の言葉を今でも覚えています。その言葉は「高志中学校の歴史は今ここから、君たちから始まります。学校に命の息吹を吹き込むのは君たちです。君たちが学校をつくるのです。」でした。先輩たちが創ってきた学校です。でもまだまだ、これからです。皆さん、一緒に創っていきましょう！